



ボーイスカウト東京連盟  
あすなろ地区 広報誌  
第25号

2019年 4月 7日  
組織拡充委員会

## 地区スカウトキャンプ研修会

3月16日(土)～17日(日)、第236回地区スカウトキャンプ研修会が大宮八幡宮スカウトの森で開催されました。主任講師は当地区の地区委員長でもある佐藤武信日本連盟リーダートレーナーで、15名の参加者で3つの班を構成し、地区のスタッフが班長役となりました。

スカウトキャンプ研修会はBS講習会修了者がウッドバッジ研修所の受講前に、キャンプに必要な技能を習得するため開催されるもので、「野営技能、野外調理、ナイトプログラム、設営と撤営」などのセッションがあります。

例えば「設営」についてはテントの張り方、たたみ方の話を聞いてから、実際に班のテントを設営したり、ロープワークを繰り返して練習したあと、角縛りや筋交い縛りを使い、竹材で立ちかまどを組み立てて炊事をするなど、講義だけでなく、体験しながら学ぶことになります。

参加者からは「基本が理解できた」「今まで漠然と行ってきたが、基本を学び、理解することで、より幅の広い野外活動ができるようになり、指導者として自信を持った」などの感想がありました。



## 隼スカウト章、菊スカウト章の伝達

3月22(金)に開催された地区委員会に先立ち、以下の皆さんに佐藤地区委員長より隼スカウト章、菊スカウト章が伝達されました。



- ◎菊スカウト章 **中野8団** 北川 龍、**中野11団** 陰能 洸大、木村 恒陽、吉岡 大輝
- ◎隼スカウト章 **中野8団** 田代 真也



菊スカウト章 北川 龍さん



菊スカウト章 陰能 洸大さん



菊スカウト章 木村 恒陽さん



菊スカウト章 吉岡 大輝さん



隼スカウト章 田代 真也さん



全員で記念撮影

## 日本連盟ホームページに「全国の団情報」を開設

日本連盟のホームページに全国の各団の情報を、より広く、便利に検索できる環境が準備され、日連HPから各団は自団の情報を登録できるようになりました。

日本連盟HPに記された右図の事例の通り、登録できるのは団内の隊構成と、団紹介のための写真と文章が入る大きな枠が1つ、小さな枠が3つあり、使い方は自由で、各枠には最大で2000文字まで入力できます。

また、団の住所、主な活動場所、男女の参加対象が表示され、団のHP、SNSのアドレスを登録しておけばリンクし、各団の問合せ先のメールアドレスも登録すれば、問い合わせの連絡を受けることができます。

また、自団の周りの町名、学校名、駅名などのキーワードを登録することができ、入力内容とキーワードが一致した場合、自団が表示されることとなります。

スカウト活動の見学、体験を希望する方が日本連盟のHPを見る場合は、今回開設された各団の登録情報を参考にして問い合わせることになり、各団の組織拡充に役立つことが期待されるため、有効に活用ください。



## 東京連盟の組織拡充フォーラム

3月3日(日)、台東区金杉会館下谷分館で東京連盟の組織拡充フォーラムが開催され、「組織拡充に向けての具体的な方策」をテーマに事例発表や、参加者がグループに分かれてのディスカッションが行われ、各地区と団の組織拡充の資料やスカウト募集のチラシ、のぼり旗、缶バッジ、ゴム風船などの展示室も設けられました。

江戸川3団からは、区役所から区内の学校などに書類を配送する「区の文書交換便」を活用してスカウト募集チラシを配布したところ、一日体験ではこれまで3人程度の参加であったのが、保護者の手に渡った効果が大きく、28名の参加申込の効果があったことが報告されました。

練馬13団からは、創立50周年を迎える2020年までにスカウト登録人数50名の目標を立ててプロジェクトチームを決め、募集対象をビーバーとして、昨年11月の体験集会参加者26名のうち、半数の13名が入隊に結びついたこと、その勝因として、団の活動内容をホームページやFacebookで「見える化」をすすめたこと、チラシ作成にあたって表示すべき事項を漏らさず記載したことなどが紹介されました。

また、「ITCを活用した組織拡充について」では、スカウト募集のためにスマホ対応は必須で、内容の更新頻度を高めること、スカウトの楽しそうな表情の写真を入れ、保護者をターゲットにすることが大切との話があり、日本連盟のホームページに全国の各団が自団の写真やコメントで活動内容を自由に記載できるように検討されていることの報告がありました。

当日の資料、各地区・各団のスカウト募集チラシなどは、地区ホームページの「加盟員のページ」に記載しましたので、参照ください。



## 地区の世界友情章講習会に多数参加

3月3日(日)、あすなる地区主催の世界友情章講習会が高円寺中央会議室で開催されました。

海外派遣参加者は、「世界友情章」の技能章を取得することが望まれますが、団や隊での取得が難しいため、地区で開催されたものです。

このため、今年の夏に米国で開催される第24回世界スカウトジャンボリーに参加するあすなる地区のスカウトだけでなく、あすなる地区と同じ隊で参加する山手地区のスカウトも参加しました。

参加スカウトは4グループに分かれ、「世界友情章」の細目に沿って15か国以上の国旗を描き、おのおの国旗の制定の由来、象徴されている精神の意味をグループ内で分担してまとめ、また世界の国々のスカウト章の特徴などを調べました。

国際連盟の歴史、組織、活動内容や、国連憲章と世界人権宣言の主旨などについては講義を受けました。

この講習会の後、海外のスカウトと実際に外国語で3か月以上、3回以上のメールのやりとりをして、「世界友情章」を取得することができます。



アメリカ



フィリピン



エクアドル



ドミニカ



エジプト



ロシア



オーストラリア



アルゼンチン



サウジアラビア

## 世界ジャンボリー結隊式

今年の7月22日(月)～8月2日(金)、米国ウエストバージニア州のサミット・ベクテル・キャンプ場で、第24回世界スカウトジャンボリー()が開催されます。

日本の24WSJ派遣団はスカウト、指導者、IST(インターナショナル・サポート・チーム)と本部要員を合わせ約1,200名で、参加隊は第1隊から第28隊に編成され、各隊は36名のスカウトと4名のリーダーで構成されています。



参加隊は7月19日(金)に代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに集合して最後の事前訓練集会を行い、7月21日(日)に渡米してジャンボリーに参加し、終了後は観光をして8月5日(月)に帰国予定です。

あすなる地区の各団は表の通り、中野の各団が第9隊、杉並の各団が第12隊となりました。

### 中野各団の第9隊

第9隊は3月21日(木)に葛飾区新小岩区民センターで第1回事前集会を行いました。

最初に隊長から派遣に関する説明を受けた後、お互いに自己紹介をし、参加にあたっての自分自身の目的と目標の確認を行い、3月29日(金)から行われる訓練キャンプの食事メニューについて、話し合いをしました。

また、その場で保護者会が行われ、保護者への派遣に関する説明と質疑応答が行われました。

続いて3月29日(金)～31日(日)に、千葉県山武市の東京連盟日向野営場で第9隊の訓練キャンプを行いました。

訓練キャンプでは最初に班編成が発表され、班長以下、班の役割分担を決めた後は、キャンプ生活の始まりです。

第9隊のモットーは「自分たちで考え、自分たちで行動する」ですが、最初のうちはお互いに遠慮があるのか、なかなか声を掛け合って作業を進めるという形にならなかったものの、次第に慣れてきておしゃべりに花が咲き、何をするのにも時間がかかっていました。

予定の時間までに作業が終わらないということを何度か繰り返し、それはなぜなのか、どうしたら改善できるのか、ということ指導者に問われながら、班長が中心になって自分たちで考え、3日目によくテキパキとした行動ができるようになりました。

今後は参加スカウトの学校の行事予定を確認しながら、5月以降に2回目の事前集会を行う予定です。



隊番号	団の内訳
第9隊	大都心10名(千代田、中央、新宿) + 城東22名(江戸川、葛飾、江東、墨田) + あすなる4名(中野8団、中野11団)
第12隊	山手9名(目黒、渋谷) + あすなる27名(杉並3団、杉並4団、杉並5団、杉並6団、杉並9団、杉並11団、杉並12団、杉並13団)



## 杉並各団の第12隊

第12隊は3月21日(木)に新宿リサイクルセンターで結隊式を行いました。

結隊式の後にはゲームで緊張をほぐしたあと、お互いに自己紹介し、班編成をして班長、次長を決めました。

また、4月28日(日)～30日(火)に八王子のひよどり山で開催される訓練キャンプ、5月11日(日)カトリック渋谷教会で開催される保護者会や今後の計画、準備事項などの打合せなどが行われました。



佐藤地区委員長の挨拶



隊スタッフの紹介



アイスブレイクゲームで開始



世界ジャンボリーの会場

## 東京連盟 パインウッドダービーで上位に

2月24日(日)、パインウッドダービー東京大会が国士館大学世田谷キャンパスで開催され、あすなる地区の予選で選ばれた代表スカウトが参加しました。

レースは各自4レーンあるすべてのレーンを走り、4回走った合計の平均タイムで順位を決めます。

都内の各地区からの多くの代表スカウトが集まる中で、杉並13団の藤原海音さんが「くま3位」、中野5団の黒岩恒晴さんと田中溜さんは「組対抗3位」、杉並13団の生嶋孝一さんが「アンリミテッド1位」の成績となり、表彰されました。

「組」としてのエントリーは今回の東京大会で初めての試みで、出場できるのは各地区とも1組に限られ、東京大会に出場した14地区の14組で競うことになりました。

集計方法はあらかじめデータ入力の際に「組」としてエントリーし、レース自体は個人戦の出場者と一緒に行われます。結果は個人戦と同様に平均タイムとなり、ソフト側で組別の集計が可能となります。

地区予選、東京大会での入賞の有り無しにかかわらず、パインウッドダービーに参加したスカウトの皆さんが、このレースに向けて木片を少しずつ削り、心を込めて車体に仕上げ、きれいに塗装し、少しでもスピードが出るように調整してレースに参加したことは「努力賞」に値するものといえます。



**パインウッドダービー 2019**  
東京大会

フルスピードで駆け抜けろ!!

東京中のカブスカウトが大集結!!  
地区予選を勝ち抜いた精鋭300台がスピードを競う!!

カテゴリ  
●5名若クラス/●10名若クラス/●15名若クラス/●組対抗/●アンリミテッド  
●AWD:スピード高/デザイン賞

主催: ボーイスカウト東京連盟  
実行: パインウッドダービー2019実行委員会  
コメンソナーグループ/修業・行務委員長/安全管理委員会

開催日: 2019年2月24日(日)  
開催時間: 午前9:00~12:00  
午後13:00~16:00

会場: 国士館大学 世田谷キャンパス  
メイプルセンチュリーホール

協力: 国士館大学  
後援: 東京ヤクルト製菓株式会社/株式会社コフレッド/ライオンズクラブ/真直会社/キーン

## みんなで楽しくお餅つき

## 杉並5団

2月24日(日)、杉並5団では高円寺教会で、恒例の「教会もちつき」をしました。

杉並5団では日頃より高円寺教会にお世話になっているため、少しでも恩返しができればという気持ちを込めて、毎年1月の終わりに各隊が参加して餅つきをしています。

今年は、高円寺教会の司祭館が火災にあったため、日程は2月24日(日)にずれてしまいましたが、例年通り活気のある餅つきとなりました。

ビーバースカウトやカブスカウトにとっては、杵は重かったですが、リーダーの手も借りながら、頑張って杵を振り下ろし、交替しながらお餅をつきました。

スカウトのお母さんたちも前日から仕込みをしてくださり、お父さんたちはもち米を蒸したり、仕上げに元気よく搗いていただきました。

搗きたてのお餅は手早く小さく丸めて、定番のあんころ餅、きな粉餅、からみ餅などがたくさん出来ました。

みんなで協力しながら搗いたせいか、お餅はとてもおいしく、信徒総会を済ませた教会信者の方々と一緒に、教会のホールでお腹いっぱいいただきました。

